



Mutual Trust

奉仕の感動を分かち合おう。

米山・職業奉仕

CLPの中の職業奉仕 職業奉仕月間に思うこと

職業奉仕委員長 大西 省司（福知山西南RC）

10月は職業奉仕月間です。皆様のクラブでも、既にさまざまな職業奉仕に関するプロジェクトやクラブフォーラムなどを計画されていることと存じます。又、個人としても職業奉仕の理念を奥深く探求し、身につける絶好の機会でもあります。

地区職業奉仕委員会としましては、職業奉仕月間を前に、8月、9月に亘り、IM単位のグループ別に3班に分れ、各クラブの奉仕プロジェクト委員長様、職業奉仕担当の委員長様にお集まり頂き、職業奉仕研究会を開きました。職業奉仕担当の諮問委員大日方弘明バスター・ガバナーより「CLP導入に対する四大奉仕の位置づけ」をテーマとして、CLP導入の中での特に職業奉仕について、重要な示唆を頂戴いたしました。また、各クラブの委員長様からは、活動方針、具体的活動についてご発表を頂き、情報交流と研鑽のキーステーションの役割も果たせたものと考えています。

かつて、チャールス・ケラー会長が国際協議会でのお話の中にこういう言葉がございました。「率直にお話ししましょう。殆ど全ての地区ガバナーが、職業奉仕である程度の成功を収めるようにクラブに奨励しても、成果が無いため失望を味わってきました。

世界的に見て、最も軽視されている奉仕部門であります。職業奉仕部門が、歴史上、最も強力な分野であったことを考え合わせると、興味深い思いがします。・・・職業奉仕に新しい息吹を注入する方法を何か見つけなければ、職業奉仕がロータリーのプログラムの中でどのくらいまで生き延びることができるか分かりません。」とロータリーから職業奉仕という部門が無くなってしまわないかと彼は真剣に憂えています。それから十数年、どうでしょう。状況は少しも変わっていないように思います。

ロータリー思想の根幹となる職業奉仕理念を、私達は「He profits most who serves best 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーで表してきました。不易流行と云いますが、このロータリー思想の根幹となる職業奉仕理念は不易、絶対に変えてはならないものとして私達は遵奉してまいりました。しかし、ケラー会長が申しましたように、新しい息吹を注入する方法を何か見つけなければならぬ時代になったのではないかと感じております。

平井ガバナーのご指導のもとに、2007年2月には第2580地

区佐藤千寿バスター・ガバナーによる講演会「ロータリー第三の波 苦悩する職業奉仕」を企画しております。そのお話の中に、ヒントが得られるであろうと期待を寄せているところがございます。

多くの会員のご聴講をお願いし、21世紀を迎えての職業奉仕のあり方について認識を深め、実践していただく為の有用な機会として頂きますようお願い申し上げます。

以上

米山・職業奉仕の月間によせて

米山奨学委員長 土谷 宗一（奈良大宮RC）

地区の米山奨学委員会は7月の地区委員会を皮切りに、同じく7月のブロック別奨学生集会、8・9月のいずれもブロック別のクラブ委員長会議、大学担当者への説明会などを経て10月の米山月間の卓話の手配と2007学年度の奨学生募集の打合せを終えたところでした。

ご存じのように米山月間には原則、世話クラブでは自クラブの学生が、非世話クラブには地区委員が学生に同行して卓話をさせて頂きますが、クラブの米山委員長、プログラム委員長さんにはなにかとご苦労をおかけしております。

ところで、今までの活動の中であらためて思い知らされたのは、外部の大学の関係者はもちろんロータリアンにも、いかに米山の内容が知られていないかということでありました。

大学の担当者の方々、主に国際課・留学生課・学生課などの課長さん方ですが、地区委員のほかに各クラブに米山委員長、全奨学生に1名以上のカウンセラー、そしてロータリアンが年間2万4千円の寄付を目標としていることなどを説明すると、あらためて米山事業の広がりを感じてもらったように思っています。

実際、地区委員こそ13名ですが地区で世話している奨学生は本年度46名。46名以上のカウンセラーさん、96名のクラブの

委員長さん。そして全会員の寄付の努力を考えると、国際交流のための留学生支援という旗印のもとに私たちはかなりのエネルギーを注ぎ込んでいると思います。

しかし、クラブの委員長さん方のお話からも我々地区委員も含めて、米山の意義・使命といった理屈でなく、寄付の取り扱い、普通寄付との違い、送金の手続きなど、ごく基本的な知識がかなりばらばらついていることを痛感させられています。

過日米山財団の方から全ロータリアンに配布されました「米山奨学豆知識」は、その点かなりよく書けていますので、熟読をお願いしたいと思っています。

ご承知のようにこの年度、私たちは「寄付の増進」に軸足を置いており、過日のクラブ委員長会議でも各クラブの実情をお聴かせ頂いて、増進の方策を徹底的に考えて頂いています。

財団の報告によると、幸い過去長期にわたって低迷していた全国の寄付金額は昨年久しぶりに微増に転じたとか。

それでも2005年度からの奨学金の額を削り、年間の奨学生数を2割減らすといった縮小折衝を抜け出すことは出来そうもありません。

速報によると今年も寄付金の出足が好調と報じられ、8月は前

年度比40数%増となっています。

しかし、年間で見ると10月の米山月間から年内一杯に寄付が集中し、ほとんどこの期間に年度の額が決まっているのが実情で、好調なスタートであっても予断は許されません。

実際、クラブ別の一人当たり寄付金額の月次の推移を詳細に分析してみると、6月末の最終金額を100として1月末時点では50%に達していないクラブは14あり、締め切り前月の5月末でも90%に達していないクラブが35あります。

事務局からの送金時期も違い、寄付の集め方も千差万別。各クラブにはそれぞれ独自の方法があり、その中で工夫をこらし最善の方法を見だして皆様のご協力を得るよう、クラブ委員長さんにはお願いをしております。

さあ米山月間です。事業継続・発展のためにあらためまして会員皆様のご理解とご協力をお願いしておきます。

第3組IM開催報告

第3組IM実行委員長 野村 泰三（京都山科RC）

去る8月19日（土）京都ホテルオークラに於いて開催いたしました2006～07年度のRI第2650地区・第3組のIMは、1402名の登録をいただき無事終える事が出来ました。

平井ガバナーは、「ロータリーの絆」（ロータリーの本質を問う）を取り上げられ、ロータリアンが率先して奉仕をして感動を分かち合おうということを提唱されました。

RI元理事千玄室様に「ロータリーとは」と題して基調講演・引き続きシンポジウムのゼネラルリーダー・実に2時間30分...ロータリーへの熱き思い...会場の隅々まで伝わり会場を盛り上げました。

シンポジウムはRI元理事千玄室様のリーダーの下で、西村パストガバナー、橋本ガバナーエレクト、室輝男氏（京都紫野RC）、田中峰子氏（京都西南RC）、宮崎成市氏（京都中RC）のパネラーとパネルディスカッションを展開していただきました。

RI元理事千玄室様御提案の「クイズ・ロータリー色々」から始まり、ロータリーの多岐に渡っての意見交換、会場からは大勢の方々から御意見御発言を頂戴しました。

第3組のIMでは、初めて女性のパネラー田中峰子氏に参加していただき、従来のパネルディスカッションとは異なった柔らかな雰囲気、時間を忘れるほど熱の入った会議となりました。手前味噌ながら大成功でした。

懇親会は、大勢のロータリアンをお迎えして、和気藹々の中「ロータリーの絆」を深めていただくことが出来ました。

RI元理事千玄室様、パストガバナーの方々をはじめ地区役員の皆様、御参加いただいた多くの皆様に心より暑く御礼申し上げまして、御報告とさせていただきます。



第1組IM開催報告

去る9月2日(土)彦根プリンスホテルにおいて第1組IMを開催いたしました。
大会テーマ「信頼しあえる人間関係 - 絆 - を求めて」として、嘉田滋賀県知事(代理) 獅山彦根市長を来賓に迎え、平井義久ガバナーの開会点鐘で式典がスタートいたしました。ゼネラルリーダーには、当クラブの会員の山崎時雄パストガバナーにお願いしました。

開会式典終了後、第1部では、早稲田大学大学院教授・元三重県知事の北川正恭様に「絆と倫理の視点で見る今の政治・経済」と題して講演をお願いし、そして第2部の対談では、ご講演いただいた北川正恭様に、比叡山延暦寺長騰の叡南覚範様に加わっていただき、当クラブ会員の秋野君がコーディネーターとなって「絆と倫理」と題してそれぞれの方にお話をさせていただきました。人間の絆の大切さ、企業倫理を含め、現代社会の倫理観の欠如、また、戦後の教育問題にまで踏み込んだ興味深い話を聞かせていただき、今後我々のロータリー活動の指針となるような有意義な講演と対談ではなかったかと思えます。

そして、閉会式典終了後、多くの会員参加のもと懇親会を行いました。琵琶湖の夕陽を眺めながら会員相互の親睦を深めつつ、和気藹々の中で無事IMの全ての事業が終了いたしました。

今回のIMがご参加いただきましたクラブ会員の今後の活動において、糧となり、心のよりどころとなりましたら、ホストクラブとしてこの上ない喜びです。

最後に来賓を始め、ご登録、ご参加いただいた703名もの多くの会員の皆様に心より御礼を申し上げ、第1組の報告とさせていただきます。ありがとうございました。



クラブ幹事 谷 節雄 (彦根RC)



IM実行委員長 清水克己



早稲田大学大学院教授・元三重県知事 北川正恭氏



延暦寺長騰 叡南覚範氏



彦根ロータリークラブ会長 大森修太郎



ゼネラルリーダー 山崎時雄

「アミダの森京都隊・沙漠緑化ロータリーの森」報告書

舞鶴東ロータリークラブ・峰山ロータリークラブ・綾部ロータリークラブ3クラブ協賛 沙漠緑化事業

昨年に引き続き沙漠緑化「アミダの森京都隊・ロータリーの森」の派遣隊を結成し、8月20日から8月25日の6日間、中華人民共和国・内モンゴル自治区、クブチ沙漠・恩格貝、シリンホト沙漠、砂漠化防止のための植林に行ってきました。

8月21日・22日

クブチ沙漠・恩格貝アミダの森にて植林



クブチ沙漠・恩格貝で「ロータリーの森」制定地での植林 ポプラの木30本植える
植林2年目にして始めて「ロータリーの森」確保。ここからロータリーの森が広がる



23日・24日

シリンホト「中日友好百年林区」での植林活動 この地域での活動は、地元の小学校の子供たちが一緒に植林します。全員でポプラ120本、松120本、ニンキョウ120本計360本植樹

今まさに、地球上ではオゾン層が破壊され、南極の水が溶け出し、各地で豪雨による被害が続発しています。これは地球の温暖化の影響であります。それを防ぐ手段として沙漠に植樹する事がもっとも効果があると考えられています。沙漠に木を植えることによって「地球温暖化」にストップが叶うのであります。

折から今年度国連の「砂漠と砂漠化に関する国際年」にちなみ、一人でも多くの人々が地球温暖化防止に賛同することが、この素晴らしい地球を救う第一歩になるものと信じています。

今回は舞鶴東ロータリークラブと峰山ロータリークラブ、綾部ロータリークラブの3クラブ協賛で行いましたが、この事業が更に他のロータリークラブに広がり、2650地区、日本中のクラブに広まり、そして世界中のロータリークラブにこの運動が広がることを念じて報告とさせていただきます。

(第2650地区 舞鶴東ロータリークラブ 広瀬 久哲)



作業終了後、子供達と記念撮影



京都洛中RC奉仕プロジェクト
「命の水 その源流で 共に学ぼう 共に遊ぼう」 広報・IT・雑誌委員長 武部 宏（京都洛中RC）



今年度最初の奉仕事業として上記のイベントを9月3日の日曜日に行いました。当日は八月までの厳しい残暑とは打って変わって、頬に当たる風もさわやかな快晴に恵まれました。

この事業は今年度平井ガバナーのテーマでもある水問題を若い世代の人たちと一緒に楽しみながら考えようというものです。京都の左京区にある養護施設「迦陵園」の子供たち50人を招き、ロータリアンや家族、ローターアクトのメンバーも加わって100人余が2台のバスで滋賀県の朽木を目指して行きました。琵琶湖に注ぐ安曇川の源流は京都の左京区へ続いています。京都で降った雨が琵琶湖へ流れ疎水を経て私たちの台所へ届く水の循環を、目で、肌で体験しようという壮大な企画です。まずは朽木の手前に当たる大津市葛川漁協で鮎や岩魚の掴み取り、子供たちは歓声を上げながら捕った大部分の魚を川へ返してやり生き物の命をむやみに取るのではなく大切にすることを学んでいただきました。

朽木グリーンパーク思い出の森でバーベキューの昼食です。自分たちが捕った鮎の塩焼きを頂きました。思い出の森から歩いて朽木いきものふれあいの里へ到着、指導員による自然観察が楽しくて、昆虫などの生き物に目を向けると同時に葉っぱ1枚も命であり、鹿の糞さえも昆虫などの生き物がかわかって美しい自然が保たれていることを子供たちに分かりやすく教えてくれるのです。大人であるロータリアンたちも大きく頷きながら聞き入っていました。

私たちが生きているということは自然の恵があればこそ、だから自然の営みに感謝し自然を守ることの大切さを噛み締めながら琵琶湖から疎水に沿って走り、京都へと、意義ある1日を過ごしてまいりました。



むかしのあそび大集合 あすかRC クラブ広報委員長 森下 秀城（あすかRC）

8月19日、「むかしのあそび大集合」を国営飛鳥歴史公園・石舞台地区・あすか風舞台にて、奈良県・橿原市・明日香村各教育委員会の後援を賜り開催しました。心配していました台風も逸れ、気温35度の熱暑の中ではありますが、親子連れ約520名が元気に盛り上がりました。

この事業は本年度で3回目となりました。現在は、昔のような工夫した遊びや体を使った遊びから、実体験に伴わないバーチャル感覚の遊びに変わってきています。そのため、友達との人間関係が築きにくく、感情のコントロールがうまくできない子供が増えています。当クラブでは、昔ながらの手作りの遊びを通して、人とのふれあいや体を使って遊ぶ楽しさを伝えたいと一昨年から企画しています。

特に本年は、平井ガバナーの方針に基づき、子供達に環境と水の大切さに目を向けてもらおうと環境・水に対するクイズ大会、手作りの竹の水鉄砲や手押しポンプによる遊びのコーナーを設けました。

子供達が、むかしながらのあそびを通して、祖父母や親とのふれあいや体を使った手作りの遊びが伝わったと思います。

当日の内容

飛鳥蹴鞠・ぼん菓子・竹とんぼ・竹笛・竹馬・カン馬・紙芝居・折り紙
こま回し・手押しポンプ水遊び・水鉄砲・クイズ大会(水にまつわるもの)

当日取材

奈良テレビ...当日18時からのニュースにて放映されました。
読売新聞...翌日の奈良版に掲載されました。
毎日新聞...翌日の奈良版に掲載されました。
奈良新聞...翌日社会面に掲載されました。
" ...翌週特集記事に掲載されました。



YEPstudent・Michelle受入・福知山市長を表敬訪問

クラブ広報・雑誌委員会 大西 哲朗(福知山RC)

YEPstudent・Michelle受入・福知山市長を表敬訪問

福知山ロータリークラブは、今年度YEP交換学生として、アメリカ・テネシーより16歳の女子学生を受け入れました。8月10日午後4時32分・関空1FNorth Gateに満面に笑みをたたえて入国して参りました。

YEP地区委員の松山隆氏との挨拶後、出迎えた福知山RCのYEP委員長福島慶太氏・カンセラーの中川幸紀氏・副委員長の出澤一彦氏・委員の岩滝俊彦氏とホストファミリー福島氏の二人の息子さんとたどたどしいも、楽しい英会話がスタート・・・

翌日には、福知山市役所に市長表敬訪問を・・・さすが交換学生は、若いですね・

時差14時間を感じさせない元気で明るい笑顔で、持参しましたバナーを市長に・・・

彼女の明るさで、市長室のムードが熱気と若さで、活気あふれる雰囲気・・・

夏の高校野球京都代表「福知山成美高校」の応援に連れて行きたいと助役さんも大喜び。

今回も報道機関が大きく取上げて頂きまして、地元の皆様には、ロータリークラブへのご理解が、一段と浸透しております。



YEP派遣学生・無事コロラドに着

福知山RCのスポンサーで岩滝拓也君を、コロラドへ送り出しました。ご両親より下記メールを受信しましたので、ご覧ください。

昨日、拓也から向こうの近況報告の写真付きメールを受け取りました。

出発時は、21時間ものフライト、2回の乗り換えがあり大変心配をしていました。

荷物の受け取りがうまくいかなかった、開かれていた事、飛行機の便を間違えていた事など、苦労したようです。

到着の電話は、疲れきった声でした。最初からハプニングの連続でした。

しかし、写真を見て安心しました。雄大な自然の元、暖かいhost family に囲まれ、満面の笑みの写真に胸をなでおろしました。ロータリーに感謝・・・

拓也の父 岩滝俊彦(福知山RC)



YEP EXST 盆踊りを満喫

京都・福知山ロータリークラブのバナーデザインにも採用されている福知山城のある内記1丁目自治会のお地藏さん祭りに、ミッチェルは、ホスト福島おかあさんと一緒に参加しました。

浴衣に下駄スタイルで、福知山踊り(ダンス)を楽しみました。小さい子供達も「アメリカのお姉さんが来た」と大変喜んでくれました。

帰りは、初めて履いた下駄で足が痛くなり、はだして歩いて帰りました。

福知山ダンスは、朝7時から始まる、子ども会のラジオ体操の後で行われる、踊りの練習で覚えました。

ミッチェルは、『浴衣姿もお祭りも福知山ダンスも大好き』になりましたと、微笑みながら、近所の子供たちと時間を忘れて踊っておりました。

資料委員長 宮垣 幸光(福知山RC)



近所の地藏盆に行きました。

子どもたちから「ミシェル」「ミッシェルちゃん」と呼ばれ、大の人気者となりました。

今日の夜は子どもたちから、花火に招待されています。青少年交換委員会 委員長 福島 啓太・ホストファミリー 福島順子



人と人をつなぐ”ロータリーの心”

ロータリー情報委員 川北 昌博 (奈良RC)

目まぐるしく変わっていく今の時代にあって、ロータリアンとして、どのように対処していけば良いのでしょうか？

ロータリーが時代の流れと共に変化していくのは当然ですが、その本質は不変であると考えます。私の在籍する奈良ロータリークラブは創立55周年を迎えました。クラブの発展は永年にわたる先輩諸兄の努力と貢献の賜であると思います。昨今、クラブ会員の高齢化と会員の質と量の問題について、よく話題になっていますが、それぞれの地域に根ざした伝統を尊重しつつ、老・壮・青の会員が三位一体となって継承していくことが大切であろうかと思えます。私自身「壮」から「老」へと自覚するにつけ改めて「四つのテスト」の大切さを実感しています。

- ・ 真実かどうか
- ・ みんなに公平か
- ・ 好意と友情を深めるか
- ・ みんなのためになるかどうか

四つが一つになってこそ真価を発揮するのだと思います。

第2580地区 佐藤千壽バスターガバナーのスピーチに「人間

とは人と人との間柄。……わたしがあってあなたがある。あなたがあってわたしがある。この二人の間柄が人間存在の原点ではありませんか。そこから出発しない限り……」また「ロータリーも間柄の美学です」ということばがありました。むづかしいことは解りませんが、このスピーチに出会った時、心洗われる思いがしました。大切なことを忘れかけていたと思いました。

私たちは生まれて死ぬまで、人の間に生きています。人と人、その間柄こそが全てなのです。そしてロータリーは「人と人との間柄」以外のなにものでもありません。相手あっての自分、自分あっての相手、お互いに相手を思いやる心があれば、理解し合い感動を共有することも出来ます。

本年度、平井義久ガバナーのテーマは「絆 奉仕の感動を分かち合おう」です。「絆」とは、まさしく人と人をつなぐ「ロータリーの心」でありましょう。

人と人との絆を大切に、ロータリアンとして「四つのテスト」をしっかりと心に刻みながら、一步一步実践していきたいと考えます。

IM第1組 クラブ・ロータリー情報委員長連絡会議 開催

IM第1組クラブ・ロータリー情報委員長連絡会議が9月2日(土)10:30~12:00 IM第1組会場の彦根プリンスホテルに於いて開催された。滋賀県22RCのロータリー情報委員長と山田三郎諮問委員(PG)、地区ロータリー情報委員が「ロータリーの現状とロータリー情報について」意見交換をした。

開会には超ご多忙の平井義久ガバナーもご挨拶のみのご出席をされた。

清水慶造地区ロータリー情報委員長より、情報委員会はロータリーの創立、歴史、発展等ロータリーの知識の探求は当然ながら、それ以上に、102年目を迎えたロータリーの現状を考えることが大切であり、よって本年度はIM組単位にて開催し、各地域の情報交換、近隣の情報、活動を聞いて、伝えて、各クラブの活性化の要因になるようにと挨拶があり、例会のあり方、クラブの運営、奉仕活動、財団等の問題提起がなされた。意見交換は会員増強、CLP組織関連の話題が中心となった。最後に山田諮問委員(PG)より、ロータリーの心、日本の心も丸呑みでは駄目、また、理解できる、できないより、理解しようとする心、即ち熱意が大事で、何事にも真剣に対処する。そして、楽しいロータリー活動を願うと、まとめの挨拶があり閉会した。

その後は昼食にて隣り同志のRC情報交換が個々に行われた様子。*クラブ・ロータリー情報委員長連絡会議は下記の日程にて開会される。

- IM第4組(奈良県)10月7日(土) 奈良県新公会堂
- IM第5組(福井県)10月21日(土) 多田記念大野有終会館
- IM第2組(京都北部)11月4日(土) プラザホテル吉翠苑
- IM第3組(京都南部) 未定 未定

ホームページで「絆」を深めよう

地区ホームページをご覧になっていますか？

ホームページを開くと、ガバナー事務所便り、クラブ便り、委員会便りのコーナー、が目飛び込んできます。ここでは地区で行われている活動を、ロータリアンの皆様に迅速にお届けするよう、随時更新できる体制をとっております。また、記事についてのご意見やご感想をすぐに反映できるブログ形式となっていますので、情報を得ながら交流することも可能です。ガバナーの公式訪問をはじめ各クラブの奉仕活動も、どんどん掲載しています。「委員会でごこんなことが決まった!」「うちはこんな活動をした!」「こんなエピソードがあった!」などありましたら、是非ロータリアンの皆様に広く伝えてください。ガバナー事務所まで原稿と写真をお寄せいただきましたら、すぐに掲載いたします。ホームページを通じて、さらなる「絆」を深めませんか。

原稿・写真は、ガバナー事務所

gov06-07@rid2650.gr.jp までお送りください。

お問い合わせは、地区副幹事長 砂山(ガバナー事務所 大西まで)



<http://rid2650.gr.jp/>



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介をいたします。

記念講演から

- | | |
|--|--|
| 「人生を考える」 稲森和夫 2005
23p (D.2790地区大会) | 「どうせやるなら精一杯、喜んで」 木村進次 2006
14p (D.2540地区大会) |
| 「道草をくいながら」 岸田今日子 2006
5p (D.2790地区大会) | 「最新の国際情勢について」 古森義久 2005
9p (D.2660地区大会) |
| 「高く遠い夢~70歳、エベレスト登頂~」 三浦雄一郎
2005 9p (D.2540地区大会) | 「みんなの幸せのために」 江原啓之 2005
9p (D.2660地区大会) |
| 「私が出会った挑戦者たち」 国井雅比古 2005
14p (D.2550地区大会) | 「脳は若返るか」 養老孟司 2005
8p (D.2660地区大会) |
| 「斬り口の向こうに未来が見える」 猪瀬直樹 2005
14p (D.2670地区大会) | 「バカの壁」 養老孟司 2006
9p (D.2510地区大会) |

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 10:00 ~ 17:00 休館 = 土・日・祝祭日



Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。



Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。

福井県 (19クラブ)

クラブ名	7.30 会員数	入会	退会	8月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
福井	118	1	1	118	119	2	3	4	81.86%	1
福井あじさい	50	0	0	50	49	1	0	4	81.00%	3
福井東	41	0	0	41	41	0	0	3	73.33%	3
福井北	113	3	1	115	107	9	0	4	88.56%	5
福井南	71	0	0	71	71	0	0	4	81.00%	0
福井西	47	0	0	47	46	1	0	3	73.91%	0
福井フェニックス	53	0	0	53	53	0	0	4	79.25%	10
福井水仙	34	1	0	35	34	1	0	4	68.00%	3
勝山	28	0	0	28	28	0	0	4	93.75%	3
丸岡	36	0	0	36	36	0	0	5	88.82%	0
三国	43	0	0	43	44	1	0	4	86.18%	1
大野	37	0	0	37	37	2	0	4	83.72%	4
鯖江	53	0	0	53	52	1	0	3	95.00%	2
鯖江北	35	0	0	35	35	0	0	4	92.65%	0
武生	66	1	1	66	67	1	2	4	82.38%	2
武生府中	47	0	0	47	47	0	0	4	94.67%	0
敦賀	54	0	0	54	54	0	0	4	68.37%	0
敦賀西	29	0	0	29	29	0	0	4	70.11%	3
若狭	38	2	0	40	37	3	0	3	100.00%	0
小計	993	8	3	998	986	21	6	平均	平均	40
								3.8	83.29%	

滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	7.30 会員数	入会	退会	8月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
びわ湖八幡	47	3	0	50	48	3	1	4	85.92%	1
五箇荘能登川	17	0	0	17	17	0	0	3	88.80%	0
彦根	77	2	1	78	77	2	1	4	95.66%	2
彦根南	65	0	0	65	65	0	0	4	96.67%	0
湖南	39	0	0	39	39	0	0	4	95.65%	1
草津	40	1	0	41	39	2	0	4	94.08%	0
水口	50	0	0	50	49	1	0	4	95.92%	0
守山	50	0	0	50	50	0	0	4	91.15%	0
長浜	61	0	0	61	62	1	2	3	98.28%	0
長浜東	69	0	0	69	68	1	0	4	95.71%	0
大津	115	5	0	120	114	6	0	4	99.49%	0
大津中央	36	1	0	37	35	1	0	4	87.26%	2
大津東	26	1	0	27	25	1	0	4	78.40%	1
大津唐橋	27	1	0	28	26	2	0	3	93.83%	1
大津西	30	0	0	30	30	0	0	4	97.62%	0
近江八幡	64	0	0	64	64	0	0	4	95.00%	1
栗東	39	0	0	39	39	0	0	4	84.83%	2
滋賀湖北	25	0	0	25	23	2	0	4	89.00%	0
高島	39	0	0	39	39	0	0	4	91.41%	1
野洲	42	0	0	42	42	0	0	4	89.39%	1
東近江	52	3	2	53	52	3	2	4	84.09%	0
八日市南	57	0	0	57	57	1	1	4	89.85%	2
小計	1,067	17	3	1,081	1,060	26	7	平均	平均	15
								3.9	91.73%	

奈良県 (13クラブ)

クラブ名	7.30 会員数	入会	退会	8月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
五條	43	1	0	44	43	1	0	4	93.30%	0
平城京	37	0	0	37	37	0	0	4	94.36%	0
生駒	37	0	0	37	37	0	0	4	85.00%	0
橿原	84	4	0	88	85	0	1	4	82.22%	3
あすか	54	0	0	54	54	0	0	4	94.79%	0
奈良	144	0	0	144	142	2	0	4	96.65%	2
奈良東	44	0	0	44	44	0	0	4	100.00%	0
奈良西	38	0	0	38	38	0	0	4	82.00%	0
奈良大宮	67	3	0	70	65	2	0	4	98.44%	0
王寺	31	0	0	31	30	1	0	4	93.75%	2
桜井	51	0	0	51	51	0	0	4	97.86%	0
大和郡山	50	1	0	51	50	1	0	3	98.12%	0
大和高田	98	0	0	98	96	2	0	4	94.05%	2
小計	778	9	0	787	772	9	1	平均	平均	9
								3.9	93.12%	

京都府 (42クラブ)

クラブ名	7.30 会員数	入会	退会	8月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
綾部	49	0	0	49	50	1	0	4	89.24%	0
福知山	64	0	0	64	63	1	0	4	93.98%	0
福知山西南	54	0	0	54	54	0	0	4	94.23%	1
亀岡	42	1	0	43	42	1	0	4	100.00%	0
亀岡中央	21	0	0	21	21	0	0	4	92.62%	1
京都	199	0	0	199	198	1	0	4	97.86%	0
京都伏見	92	2	0	94	92	0	0	4	89.74%	3
京都平安	37	0	0	37	37	0	0	2	84.29%	3
京都東	104	0	2	102	104	0	2	4	95.85%	0
京都北東	34	0	0	34	32	3	1	4	93.33%	0
京都城陽	34	0	0	34	34	0	0	4	95.97%	0
京都桂川	32	0	0	32	32	0	0	4	85.42%	0
京都北	65	0	0	65	65	0	0	4	99.55%	0
京都市南	217	5	0	222	214	8	0	4	94.13%	0
京都モーニング	51	0	0	51	50	1	0	4	87.25%	1
京都紫野	70	0	1	69	69	1	1	4	100.00%	0
京都市中	42	0	0	42	42	2	0	3	100.00%	0
京都西	102	0	0	102	101	1	0	3	100.00%	0
京都西山	25	0	0	25	25	0	0	4	80.84%	0
京都乙訓	41	0	0	41	41	0	0	4	95.16%	0
京都洛中	89	0	0	89	89	0	0	4	100.00%	0
京都洛北	68	0	0	68	68	0	0	4	100.00%	0
京都洛南	39	0	0	39	39	0	0	4	92.14%	1
京都洛西	51	0	0	51	49	2	0	4	97.14%	3
京都洛東	39	0	0	39	39	0	0	4	92.31%	0
京都嵯峨野	27	0	0	27	27	0	0	4	79.81%	0
京都さくら	29	1	1	29	29	1	1	4	95.54%	3
京都西北	47	1	0	48	46	2	0	4	98.30%	0
京都西南	59	1	0	60	58	1	0	4	93.00%	6
京都紫竹	53	0	2	51	51	1	0	4	77.20%	2
京都朱雀	42	0	0	42	42	0	0	4	91.91%	0
京都田辺	25	0	0	25	25	0	0	4	85.87%	2
京都山科	82	0	0	82	81	2	1	4	99.56%	0
京都山城	42	0	0	42	43	0	1	4	100.00%	0
京都八幡	36	0	0	36	36	0	0	4	94.68%	0
舞鶴	35	0	0	35	31	4	0	4	91.66%	0
舞鶴東	53	2	0	55	53	2	0	4	89.71%	0
峰山	40	0	0	40	40	1	1	4	91.92%	2
宮津	54	0	0	54	54	0	0	4	94.19%	0
園部	33	0	0	33	33	0	0	4	100.00%	0
宇治	45	0	0	45	45	0	0	4	97.32%	0
宇治鳳凰	46	0	0	46	45	1	0	4	96.51%	5
小計	2,409	13	6	2,416	2,387	36	9	平均	平均	33
								3.9	93.53%	

合計 (96クラブ)

	7.30 会員数	入会	退会	8月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
合計	5,247	47	12	5,282	5,205	92	23	平均	平均	97
								3.9	91.03%	

表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、8月会員数および入退会者累計数は、8月末日現在です。

ガバナー公式訪問同行取材 (奈良西ロータリークラブ)

広報・IT・雑誌委員長 武部 宏

平井ガバナー41番目の公式訪問となる奈良西RCに9月7日、同行しました。

京都から近鉄で高の原を越えると奈良県です。大和西大寺から新大宮にかけて広々と平城宮跡が目に入ってきます。奈良時代の都平城宮の右京だったあたりから西、学園前も含めて奈良の西部地区がテリトリーです。佐保川が美しく法華寺や秋篠寺でも知られる文化ゾーンです。

大阪に近く環境に恵まれた住宅地としても有名ですから地元の経済人と、この地に住んで仕事は大阪にある人たちが、土曜日の夜だったら集まれるということで1969年にスタートしたのがこのクラブ、例会日は会場の都合で木曜日に変わりましたが今も夜間例会のクラブです。今年が38年目、40周年も指呼の間となりました。

2時45分からの会長幹事懇談会に続いて例会よりも先にクラブ協議会が開かれました。平井ガバナーもいつもは例会でのアドレスを発展させた話を協議会でしておられますからいささか勝手が違う様子、と感じたのは何回も同行しているからそう思っただけで会員の皆さんには違和感もなくこれが我がクラブの公式訪問、スムーズに進んでいきます。奈良の学園前は教育の町でもありクラブとしても交換留学生のことは伝統的に熱心に取り組んできたそうです。この日も例会に青少年交換留学生のハンガリーから来たソフィアさんが招かれていました。

奈良西RCもCLPを導入したクラブですが、クラブ管理運営の小委員会に健康委員会があり、会員や家族の健康上の相談窓口の役目も果たしているそうです。炉辺会議は会費を5000円ぐらいに抑えて年間4回開いているということでした。

平井ガバナーも小委員会の多いことに少々驚きながら、ここでもCLPの目的は「組織を簡素にしてこれぞと決めた奉仕活動を全員参加で取り組むことです。地域のニーズに応える事業を深い絆で結ばれたロータリアンが取り組むことによって感動が生まれ公共イメージの向上に繋がるのです」と熱弁を振ってられました。

6時からの例会では新入会員の奥田裕一郎さんの入会式が行われ平井ガバナーからバッジをつけていただきました。これで39人となりました。50名を目標に会員増強に取り組んでいかれます。誕生日のお祝いが今月は2人でそのうちの中村保さんは85歳で最年長、お元気そのものです。ビールで乾杯！和食の美味しいお弁当を頂きました。先ほどのクラブ協議会での講評の纏めとしてガバナーアドレスを聞き、手に手つないで歌って和やかに閉会となりました。



逝去会員 謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。



栗林 弘 氏
(京都東RC)
平成18年8月7日
享年94歳



竹中 聡雄 氏
(東近江RC)
平成18年8月20日
享年53歳



木瀬 康統 氏
(福井北RC)
平成18年8月23日
享年74歳



五十川 典夫 氏
(武生RC)
平成18年8月25日
享年71歳



原田 良策 氏
(長浜東RC)
平成18年8月29日
享年78歳

